



寒さの中にも、日が少しずつ長くなり、日に日に春の暖かさを感じられるようになりました。

いよいよ3月。早いもので保育園生活最後の1か月となりました。毎日の朝の集まりで日にちを言う度に、小学校入学への期待と卒園への寂しさが込み上げてきます。

保護者の皆様には、この1年間たくさんのご協力を頂きまして本当にありがとうございました。

## 「いらっしゃいませ」

制作やごっこ遊びが大好きな子ども達。保育参観でお店屋さんごっこをすることを提案すると「やりたい!」「早くお店屋さん決めよう」と言って、あっという間に5つのお店屋さんが決まりました。まず、看板とメニュー表を作りました。「〇〇ちゃんはこれを描いてね」「ぼくはメニュー表を作るよ」と子ども達同士で声をかけ合ったり、テーブルに用意してある画用紙や段ボール等を自由に使用して作っていました。看板とメニュー表が完成すると、次は売っている物を作り始めました。見本をいくつか見せると「すごい本物みたい」「どうやって作るの?」と言って興味津々な子ども達でしたが、何日かすると「先生、ドライブスルーも作りたい」「海に行ってお貝殻拾いに行きたい」と私以上のアイデアが次々と出てきて驚きました。

いよいよ保育参観当日。保護者の方と一緒に財布作りをしているときから「たくさんアクセサリ買ってね」「わたあめもいろんな

味があるからね」と言って楽しみな様子で、お店屋さんごっこが始まると「いらっしゃいませー!」と大きな声で言ったり、お客さんが少なくなってくると「サービスしますよ〜」と言って、商売上手な子もいたので思わず笑ってしまいました。

月曜日に子ども達に感想を聞いてみると、「お家に飾ってあるよ」「本物みたいだねって驚いてた」と言ってよても嬉しそうでした。

## 笑顔いっぱい! お別れ遠足

楽しみにしていた最後の遠足。手紙を配布した翌日から「明日おやつ買いに行くんだ」「新しいリュック買ってもらうんだ」「バス一緒に座ろうね」等、毎日遠足の話ばかりで待ちきれないようでした。

いよいよ当日を迎え、全員笑顔で登園してきました。バスの中では高速に乗ったところで「先生もう着く?」「イルカショー何時から?」とワクワクしていて、お菓子を食べたり、色々な話をしたりしているうちに、あっという間に水族館に到着しました。大水槽で行われるアクアウォッチングでは、ダイバーさんがどこからくるのか、みんな水槽に釘付けでした。ダイバーさんに質問できる機会があり、サメやウツボについて積極的に手を挙げて質問する子もいました。アシカ・イルカショーでは、「すごい!かっこいい」とジャンプや様々な技に大興奮でした。

楽しみにしていたお弁当の時間になると「何が入ってるのかな〜」「早起きしてお母さんのお手伝いしたんだ〜」と言って嬉しそうにお弁当を広げていました。愛情たっぷりのお弁当はいつも以上に美味しく、大満足の子も達でした。

帰りのバスの中でも最後まで笑いが絶えず、良い思い出ができました。

